

せいかつかこうがいがくしゅう 生活科校外学習



平成22年2月2日、1・2年生で、御在所岳山頂へ生活科の校外学習に行ってきました。『冬』という季節を実感することと、雪遊びを通して仲間のつながりを深めることがねらいです。二日前の日曜日に担任が下見に行ったときには雪がほとんどなく、『山頂でドッジボールや縄跳びをするのもなあ・・・。』という状況でしたが、運良く月曜日にたっぷりと雪が降り、私たちが着いたときには、まさに『雪国！』でした。子どもたちは、雪合戦・雪

だるま作り・ソリ滑りと、思い思いに雪遊びを満喫していました。『ソリ滑り』をしていた子ども達は、最初は転んでばかりいたのですが、特に何も教えないのにだんだん上手になって、帰るころには、足と体で上手にコントロールしながら滑れるようになっていました。やはり、子どもたちには『体験』が必要です。好きなことなら、失敗しても失敗してもチャレンジし、経験値を上げながら上達していきます。『教えること』の根本は、『好きになるようにしてやること』と『やらせてみること』だと感じた一日でした。

また、この活動を実施するに当たって、20名の保護者ボランティアの方々にご協力いただきました。この方々が、一日中きめ細かく子ども達の面倒を見てくださったお陰で、今回の活動を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。山頂はとても寒かったので、風邪など引かれなかったでしょうか。また機会がありましたら、ぜひご協力いただきますよう、お願いいたします。

さいきん じどう ようす 最近の児童の様子

廊下を走ったり、授業中に廊下を歩く時に話をしたり、体操服や給食のマスクを忘れてたりと、まだまだ物足りないところはありますが、最近の子どもたちは、ずいぶん表情が柔らかくなってきているように感じています。以前なら、何か注意した時にムツとした顔をしていた子も、最近では素直に『すいません』と言えるようになってきました。高学年なら、自分から進んで決まりを守るようになってほしいものですが、注意を素直に聞けるようになったことは、大きな成長です。私も最近では、『叱ること』より『褒めること』が多くなってきました。本校の子どもたちを見ていると、まだいろいろな面で『伸びる要素』をたくさん持っているような気がします。これからも気を緩めずに、子どもたちのより良い成長を願って、地域や保護者の皆さん方と共に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

----- 切り取り線 -----
